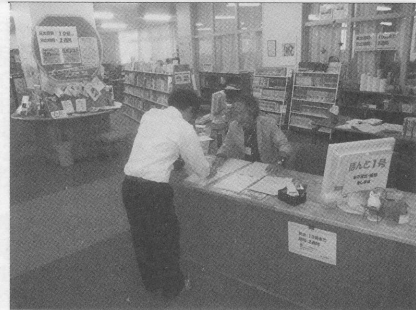




月連峰雲に輝く...♪ 校歌碑が完成

正門をくぐった右手にある
セミナー棟前に、本庄高校「校
歌碑」が卒業式当日の3月13
日に完成し、式を終えた多く
の卒業生、保護者、同窓会役
員などが列席し、除幕式が行
われました。
この校歌碑は、創立90周年
記念事業の一環として設置さ
れたもので、式では壇岡校長、
狩野同窓会長、松本PTA会
長の祝辞のあと全員で校歌を
高らかに斉唱しました。

同窓会では、生徒の自学・
自習を応援しようと本年9月
から始まった学校図書館の夜
間開放（午後5時～8時）で
PTAと連携し、この時間帯
の管理当番を担っています。
本庄高校は北部地区唯一の
進学重視型単位制高校で、隔週
土曜授業、大学予備校講師の
スーパー講義や難関大学進学
を目指す特進クラスが設置さ
れるなど進学を重視した学校
運営が行われています。



生徒の自学・自習を応援 学校図書館を夜間管理



題 字
相川徳平（旧中1回卒）
発 行
埼玉県立本庄高等学校同窓会
会長 狩野輝昭
事務所 〒367-0045
本庄市柏1丁目4番1号
（本庄高等学校内）
TEL070-1370-2257
FAX048-611-9340
HP <http://www.honko-dosokai.jp/>
印刷 南本庄孔版社

同窓会組織の確立にご協力を

同窓会長
狩野 輝昭
（高18回卒）



会長就任以来、母校と同
窓会の発展、活性化のため
日々努力しておりますが、
思うように改革出来ていな
いのが現状です。私の改革
テーマの一つに同窓会組織
の確立があります。
先日、支部長・学年理事
会議を開催いたしました。
支部長である先輩方の出席
率は良かったのですが、学
年理事の若い人たちの出席
が少なく、残念ながら数名
の出席でした。学年理事に
は本庄市内に住んでいない
方もいると思います。会議
などに出席が難しい場合は、
学年同窓会などで協議し、
学年を取りまとめる適任者

【訃報】
竹並栄一郎氏 82歳
同窓会評議員・泉町支部
長・元副会長を務められた
竹並栄一郎さん（併2）が
8月27日に逝去されました。
ここに謹んでご冥福を
お祈りいたします。

の推薦をしてください。

現行の支部長制度に加え、
一学年に必ず一人の学年支
部長を選任した組織をつく
るため、必ず推薦をお願い
いたします。

同窓会では、母校
に関心を持つていた
だくために、母校を
より愛していただく
ために、必要な情報
を積極的に提供して
まいります。ホーム
ページもFacebook
「柏陵会」（埼玉県立
本庄高等学校同窓
会）も立ち上げまし
た。同窓会専用の電
話やFAXも整備さ
れています。ホーム
ページを見ていただ
くと学校行事や同窓
会行事などの情報が
満載されております。
ぜひ、これらを活
用され同窓会の情報
を共有していただき
たいと思います。

同窓会連絡先は HP <http://www.honko-dosokai.jp/>
電 話 070-1370-2257 FAX 048-611-9340

平成27年度 本部役員・評議員・支部役員

（本部役員）

会長	狩野 輝昭	高18
副会長	富田 浩郷	高6
副会長	山口 康裕	高10
副会長	白本 直子	高12
副会長	茂木 秀夫	高13
副会長	齊藤 勝次	高14
副会長	柿木 左近	高16
副会長	高橋 忠雄	高18
副会長	須田 税	高20
副会長	長沼 章	高25
副会長	駒沢 三郎	高27
副会長	永井 保之	高27
副会長	藤塚 雄一（教頭）	高27
副会長	奥 千加（教頭）	高27
副会長	相模 幸之（教頭）	高18
会計	志塚 保雄	高18
会計	川上 芳男	高18
会計	相川 一浦	高27
幹事	平沢 正利	高28
顧問	壇岡 正人（事務部長）	高27
監事	阪上 賢司（校長）	高28
監事	黒澤 敬子	高31

（評議員）

議長	戸谷 全克	高1
評議員	塚越 壽衛	高2
評議員	内野 ヨシエ	高3
評議員	茂木 延雄	高4
評議員	江原 清吉	高8
評議員	松本 隆司	高5
評議員	飯塚 隆司	高5

（支部役員）

宮本町	荒井 稀索	高3
泉町	鈴木 盛雄	高11
上町	富沢 峰雄	高18
照若町	高橋 利夫	高4
七軒町	町田 一徳	高5
仲町	飯塚 能成	高25
本町	清水 正一	高6
南本町	村田 敬次郎	中22
末広町	野枝 直治	高5
朝日町	佐藤 達雄	高26
藤田	内田 睦夫	高12
仁手	志塚 弘良	高14
今井	荒井 正純	高4
児玉	吉田 英一	高22
美里	青木 信夫	高9
神川	伊藤 政雄	高20
神泉	秋山 欣彦	高28
上里七本	久保 保雄	高14
上里長幡	関口 静	高25
岡部	新 克之	高18
深谷	小暮 隆史	高17
熊谷	栗原 健昇	高13
泉戸南	福島 勤	高26
伊勢崎	神倉 喜良	高17
新町	高嶋 重皓	高6
東京	黒澤 信男	高1
本庄役所	駒沢 三郎	高27
児玉郡市教職員	三郎	高30
福島 彰		高30

母校近況

全日制近況

全日制教頭 荊塚 雄一

第7次東北復興ボランティア

本校では、東日本大震災の発生した平成23年の夏から被災地でのボランティア活動を行っています。

今年7月18日(土)19日(日)、昨年と同様、宮城県亘理郡山元町を訪れました。「チーム柏」(生徒の自主組織)の呼びかけで集まった52名の生徒(一年生21名、二年生10名、三年生21名)と引率教員4名が第七次隊に参加しました。



桑畑の除草作業

「高い目標に向かってチャレンジ！」

女性会館です。

初日は大学見学で、国立埼玉大学へ行きました。文系の生徒は経済学部で、理系の生徒は工学部でそれぞれ専門の教授による体験授業を受講しました。身近な題材を例に、事象の成り立ちなどを専門的に解説していただき、研究機関としての大学という一面を体験できました。その夜からは各教科の授業や学習法の学習、自学の習慣付けのための時間など、まさに学習漬けの時間を過ごしました。中でも2日目に行ったピア・サポートは、本庄高校特進クラスの特徴的な学習です。

ピアサポートとは Peer

(同僚、対等な人)が互いに support (支援、支えること) をすること、今回は、二年生が一年生の相談に乗ったり、学習面について教えたり、アドバイスをしたりする活動を行いました。教わる一年生より、教える二年生の方がより勉強になったと思います。

この合宿で身に付けた学び方と学習への高いモチベーションは、二学期からの学校生活に有効に生かされることでしょう。

グローバル人材の育成

7月25日(土)から8月4



ホストファミリーの皆さんと一緒に

タリークラブを通じて、ベリギーからの留学生が本校で学んでいます。フランス語、オランダ語、ドイツ語などを話すことができ、一年間日本で日本語や日本文化を学びます。向上心の高

進路指導室から

進路指導主事 新島 善弘

一、変わる高校教育

昨年12月に中央教育審議会から「新しい時代にあふきわしい高大接続の実現に向けた高等学校教育、大学教育、大学入学者選抜の一体改革について」が答申され、今年1月には「高大接続改革実行プラン」が文部科学省から公表されました。3月には高大接続システム改革会議が発足し、高大接続改革を実現するために、高等学校と大学が連携して、高

い留学生を通じて、本校の生徒も世界にはばたく意欲を高めてくれるとよいと考えています。

また、今年と同窓会を通じて、早稲田大学留学センター准教授の中林美恵子先生と連携した国際交流の取り組みを行います。

中林先生は、本庄高校を卒業後、日本の大学を経てワシントン州立大学大学院で政治学修士号を取得、その後、日本人で初めてアメリカ合衆国上院予算委員会に正規採用され、その後10年間、米国の中枢で公務をこなされました。日本に帰国後は、衆議院議員として活躍、現在は、早稲田大学留学センター准教授を務め

定時制近況

定時制教頭 相模 幸之

現在、定時制では、百十余名を超える生徒が在籍しています。これは、県内同規模の夜間定時制高校の中で最も多い人数となっております。本校に対する期待がますます大きくなっていることと表れであると考えています。

本校では、中学校を卒業したばかりの15歳から上は70代まで、様々な年齢層の

生徒が将来の夢に向かって学校生活を送っています。生徒の約7割は、正社員やアルバイトなど何らかの形態で就労していますが、昼間働きながら夜学校で勉強するという生活は並大抵のことではありません。

しかし、本校定時制の生徒は、皆笑顔で明るく毎日の勉強に励んでおり、約8割の生徒が「定時制の学校生活は楽しい」と毎回アンケートで回答しています。

本校定時制では「生徒一人一人を大切に」をモットーに、少人数授業、学習サポートによる学習支援、スクールカウンセラーによる心理的サポートなど様々なことに取り組んでいます。同窓会の皆様には、今後とも定時制教育に対するご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。

過去5年間の進路推移

3年	平成24年		平成25年		平成26年		平成27年	
	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役	浪人	現役
3	9	5	16	3	8	5	11	0
28	196	16	175	19	183	14	198	8
0	26	0	22	1	25	0	14	1
1	53	0	79	4	56	1	57	3
0	9	0	6	1	11	0	9	0
32	325	21	323	28	317	20	317	12
-	205	-	191	-	191	-	207	-
-	63.1%	-	59.1%	-	60.3%	-	65.3%	-
-	30	-	25	-	32	-	26	-
-	9.2%	-	7.7%	-	10.1%	-	8.2%	-



今回の訪問では、語り部の方に現地を案内していただきながら当時の様子や、その後の事などについてお話をいただいた後、桑畑の除草を行いました。桑の葉から桑茶を作ること、雇用を創出しているという説明を聞き、皆、作業に身が入りました。

特進クラス学習合宿

8月28日～30日の2泊3日で、一・二年の特進クラス合同の学習合宿を実施しました。場所は嵐山の国立

同窓会の協力を得て

校長 埴岡 正人
(高27回卒)



7月18日(土) 小雨の降る中、高校野球埼玉県大会三回戦が熊谷球場で行われました。対戦相手は古豪の熊谷高校。本校にとってはアウェーではあるものの、生徒・保護者、それに狩野会長さんを始めとする大勢の同窓生の方々の応援をいただきました。残念ながら試

日(火)の11日間、本校の生徒16名がオーストラリアへの海外研修に行ってきました。メルボルンにあるエッセンドン・キローカレッジを中心に語学研修を行ったほか、ホームステイをしながらオーストラリアの文化に触れ、現地の人々との国際交流を体験しました。年々、この研修への希望者が増え募集枠の倍以上の生徒が申し出ます。10月3日には、エッセンドン・キローカレッジの生徒11名が本庄高校にやって来ました。生徒の家にホームステイをし、日本の文化や日本語を学びました。9月1日からは本庄ロー

称)および大学入学希望者学力評価テスト(仮称)以下「新テスト」の在り方、個別選抜の改革の推進方策、高校生や高校の多様な学習活動・学習成果の評価の在り方について検討を開始し、具体的な方針をまとめることになっていきます。年内に最終のまとめが提出される予定ですが、8月下旬に中間まとめが公表されました。かつてない大きな教育改革なので、答申には必ず目を通しておくことをお勧めします。

二、進路室の「今」
9月に入り、入学試験が少しずつ始まっています。AO(アドミッション・オフィス)入試、指定校推薦、公募推薦、一般入試など、入学試験の形態も年々変化しています。毎年この時期になると、昼休みや放課後に生徒たちが進路指導室に顔を見せるようになります。三年生が中心ですが、なかには二年生や一年生も姿を現します。三年生の主な訴えは、概ね

合には負けてしまいました。が、改めて本庄高校の結束・伝統を目の当たりにすることができました。ご声援ありがとうございました。また、同日、一泊二日の日程で生徒52名、教員4名が宮城県山元町へ震災復興ボランティアに出かけました。同窓会からは多分なご支援をいただきました。とうございました。

本校のOBの方は、とても母校に関心を持っていてくださいます。それに応えるためには、学校からの情報発信は欠かせません。HPの更新、情報メディアへの投稿等行っており、同窓会でもHPを立ち上げてくださったり、会長さん自らフェイスブックで同窓生の仲間を募ってくださいたりと感謝に堪えません。この夏、50歳を迎える学年、60歳を迎える学年、卒業20周年を迎えた学年の同窓会のニュースも入ってきました。いろいろな形で同窓会の輪が広がることはうれしい限りです。

9月からは、平日の夜(5時から8時まで)、生徒の学習用に図書館を開放しております。その際、保護者の方や同窓会の役員の方に見守りのご協力をいただいております。学校へ足を運んで生徒の頑張っている様子を見ていただき、高校時代を思い返していただくのもいいかと思えます。ご協力していただける方がいらつしやいましたら、ぜひ学校までご連絡ください。図書館に関連することですが、旧中23回卒の大先輩から、定期的に和紙人形のしおりをいただいております。来校者にも大変好評です。この場をお借りしてお礼申し上げます。

「伝統と躍進」

「大学進学を目指しているが、指定校はあるか」、「推薦入試や一般入試で合格できるのか」、「一般入試で合格できますかね」などです。様々な社会的な要因もあり入試が早期化しています。どうしても生徒たちは「早く進路を決めたい」という一心で、なかなかセンター試験から一般受験への道を選択しようとしません。確かに、入試が多様化しているのも、第一希望に向けて何度でもチャレンジできることは好ましいことかもしれません。安易に第一希望をきき、「自分自身で納得し」進路を決めてしまう傾向がここ最近の特徴と考えられます。ちなみに、浪人(ナミンチュ)生の6割は学力が向上せず現状維持になります。

「〇〇大学への合格が私の夢」と良く聞きますが、それは「目標」であって、「夢」ではありません。「夢」は、なかなか実現できないけれども螺旋階段をのぼるように、少しずつ少しずつ、着実に前進し近づいていく



生徒でにぎわう進路指導室

のが「夢」。大学合格だけを求めるのではなく、人間的にどう成長していくかを追求して欲しいものです。大学に入学することが目的で勉強するのは、必ず限界があります。

	平成27年度
現役	
国公立4年制大学	15
私立4年制大学	163
私立短期大学	20
専修・専門学校	81
公務員・就職	5
卒業生数 (浪人は決定者)	320
4年制大学進学者	178
4年制大学進学率	55.6%
浪人他	36
浪人率	11.3%

母校に望むこと

深谷支部長 小暮 隆史
(高17回卒)

数年ぶりに本庄高校を訪
問し、校内の状況も大きく
様変わりしていることに驚
いています。在学当時を思
い出すと感慨深いものがあ
ります。

さて近年、本庄高校は進
学重視型単位制高校とな
り、国公立大学や難関私立
大学を目指す生徒が増加し
ていると伺っております。
将来優秀な人材が社会に出
て活躍されることを期待し
ております。

現在、本庄高校の教育目
標として「自主、自立の精
神を育み、知・徳・体の調

憧れのSKD松竹歌劇団に

上田 育美 (高35回卒)

私(芸名・沢田みなみ)
は本庄高校を卒業後、松
竹音楽舞踊学校に入學。
当時の学校は大変な人気
で、私が受験したときは



7倍という超難関でした。
学校での2年間の厳しい
レッスンを経て、憧れのS
KD松竹歌劇団に入団する
ことができました。初舞台
は昭和60年。女性がなか
か踏めない検舞台である歌
舞伎座での公演♪夏の踊り
♪でした。
その後、都内の劇場を中
心にレビュウ公演が続くな
かインド(国賓として)ド
イツ、チエコ、オランダな

場があります。今後はイ
ンターハイ等に出場でき
よう期待しております。

平成28年新年懇親会

平成28年1月16日(土)午後4時
会場：五州園(本庄市東台4-2-5)

☆沢田みなみ(上田育美)さん出演

平成28年度定期総会

平成28年6月18日(土)午後3時
会場：埼玉グランドホテル本庄

詳しくはホームページで
(<http://www.honko-dosokai.jp/>)

平成26年度収支決算書

自平成26年4月1日 至平成27年3月31日

収入の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	比較増減額
入 会 金	660,000	658,000	△ 2,000
終 身 会 費	800,000	1,120,000	320,000
年 会 費	20,000	10,000	△ 10,000
寄 付 金	10,000	14,404	4,404
繰 入 金	0	1,003,436	1,003,436
雑 収 入	561	76	△ 485
繰 越 金	629,439	629,439	0
合 計	2,120,000	3,435,355	1,315,355

支出の部 (単位：円)

科 目	予算額	決算額	残 額
総 会 費	100,000	27,680	72,320
組 織 編 成 費	50,000	48,044	1,956
会 報 発 行 費	1,300,000	1,220,697	79,303
記 念 品 費	300,000	299,822	178
母 校 助 成 金	50,000	50,000	0
会 議 費	20,000	19,063	937
交 際 費	50,000	40,000	10,000
事 務 雑 費	30,000	15,598	14,402
育 英 資 金	50,000	50,000	0
予 備 費	170,000	0	170,000
合 計	2,120,000	1,770,904	349,096

I 3,435,355円 - 1,770,904円 = 1,664,451円 (翌年度繰越し)

II 定期預金 21,399,642円

III 郵便局振替口座 153,896円

IV 同窓会会計総額(平成27年3月31日現在)

I + II + III = 23,217,989円

※平成27年3月31日現在 終身会費納入者 6,025名

終身会費納入者芳名

〔高16〕松本誠士郎
〔高18〕高橋 忠雄
〔高20〕須田 税
〔高21〕小賀野文代
〔高22〕松島 稔 剣持 睦美
日向 協平、日向真理子
〔高23〕田中 和子
〔高24〕鈴木哲次郎
〔高25〕勝山 勉 江川 知宏
〔高26〕武野 京子、関口 静
〔高27〕駒沢 三郎、関口由香利
〔高28〕篠崎 純 篠崎早苗
〔高30〕金井 義幸
〔高34〕入江 寿光
〔高66〕清水 啓太 大木友裕
戸谷 伸也
〔高67〕滋澤 至真 富永 拓味
中村 美姫、大沢 美香
西田 萌乃、江間 鈴奈
波澤 萌華、青根 舞
増井信太郎、田中真路
齋藤 拓巳、高田 琢磨
小暮 祐希

江森 美瑛、今村 英
石橋 健人、森本 雄貴
堀内 美歩、山下 宏樹
堀原 将伍、須藤 達也
柳 夏帆、中久木 福美
高橋 花澄、田嶋 大地
今井 しずか、大塚 香苗
佐藤 玲耶、今田 悠希
中村 龍一、斉藤 智博
岩瀬 智也、石川 湧也
篠木 静夏、宮一 拓海
渡辺 航、山井 桃花
佐藤 琴音、甲原 沙理
坂本 花織、神山 圭吾
加藤 辰隆、下山 真由
土屋 辰也、杉本 好輝
磯 聡一郎、町田菜菜美
戸谷 将一郎、黒澤 美怜
片貝 涼香、中山 朝陽
泉田 翼、漆原 未歩
亀田 梨奈、細井理沙子
大村 祥平、持田ゆとり
反田 勇見、山田 真衣
小田島優奈、大畠 混一
鈴木 和生、吉田 剣持 貴幸
野口 和暉、吉田 和叶

会費納入のお願い

同窓会の運営にご協力を

同窓会の基礎財源は終身会費(1万円)です。
この会費は、同窓会の運営のほか現役生徒の
クラブ活動や学業支援に活用されています。
同封の振込用紙でゆうちょ銀行窓口でお振込
みください。

加入者名 埼玉県立本庄高等学校同窓会
口座番号 00140-6-694351
(ゆうちょ銀行)

〔中16〕馬場 裕太
〔中18〕齊藤 彩花
〔中19〕齊藤 鈴佳
〔安14〕菊池 俊夫
〔定23〕関口 トシ子
〔中16〕加藤 裕太
〔中18〕須藤 彩花
〔中19〕齊藤 鈴佳
〔安14〕菊池 俊夫
〔定23〕関口 トシ子
〔中16〕馬場 裕太
〔中18〕齊藤 彩花
〔中19〕齊藤 鈴佳
〔安14〕菊池 俊夫
〔定23〕関口 トシ子



伝 統 と 躍 進

私たちは、母校・本庄高校を応援しています

給排水衛生空調換気設備工事

長沼設備工業株式会社

長沼 章(高25回卒) 長沼 豊(高31回卒)
中嶋祥光(高41回卒) 長沼 克(高56回卒)

〒367-0047 本庄市前原2-3-18
TEL 0495-24-2434

小暮隆史税理士事務所

税理士 小暮 隆史(高17回卒)

〒366-0001 深谷市中瀬112
TEL 048-587-2416 FAX 048-587-2254

同窓会は

伝統ある五州園の

おいしいお料理で!!

総合宴会場



五州園

常務取締役 赤岩迪子
(高14回卒)

アメイジンググレイス本庄
代表取締役社長 萩原達夫
(高22回卒)

ご宴会ご予約専用ダイヤル
TEL.0495-22-5225

受付時間 AM10:00~PM7:00

〒367-0021 埼玉県本庄市東台4-2-5



五州園グループ/アメイジンググレイス本庄、アメイジンググレイス前橋、五州園、五州園ケータリング事業部

埼玉グランドホテル本庄

同窓会プラン

特典

- ① 会場使用3時間まで無料延長
- ② 全コース3時間フリードリンク
- ③ 即日渡しの集合写真が1枚1,000円(税別)

本高卒業生限定プラン
6,000円(税別)~

[ビュッフェ又はコース料理8品+基本フリードリンク+ワイン]※10名様以上

ご予約・お問い合わせ ☎0495-21-2111

埼玉グランドホテル本庄

高39回卒 高橋大介(埼玉グランドホテル本庄 総支配人)

想いを繋ぎ、守り、発展させる



国際ロータリー第2570地区

本庄ロータリークラブ

〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
埼玉グランドホテル本庄 700号

クリニック版電子カルテ

イージカルテ Web2.0

2015年購入医師による評価日本一!



グローバルソフトウェア

医療システム開発、通信システム開発・検証

代表取締役 会長 狩野 輝昭 (高18回卒)

〒367-0044 埼玉県本庄市見福三丁目11番10号
TEL:0495-22-0001 FAX:0495-24-3380

内野歯科医院

内野昭八郎 (高4回卒)

〒367-0017 本庄市傍示堂518
TEL 0495-22-2817

外科・消化器内科・肛門外科
経鼻内視鏡・大腸内視鏡
医療法人 関根外科医院
はにぽんクリニック

関根 貢 (高5回卒)

〒367-0021 本庄市東台4-8-25
TEL 0495-22-3596

春山眼科医院

名誉院長 春山 茂之 (高7回卒)

〒367-0042 本庄市けや木1-5-5
TEL 0495-21-2160

内科・小児科・消化器科 富沢医院

富沢 峰雄 (高18回卒)

〒367-0053 本庄市中央1-1-3
TEL 0495-22-2270



武蔵野銀行 本庄支店

支店長 戸谷 守 (高34回卒)

〒367-0053 本庄市中央1-8-9
TEL 0495-24-1551

企業を育て、地域を伸ばす 商工会議所 本庄商工会議所

専務理事 内田 睦夫 (高12回卒)

〒367-8555 本庄市朝日町3-1-35
TEL 0495-22-5241
FAX 0495-24-3003

Life Environment Creation

人の温もりが感じられる住まいづくり

有限会社 茂木聡建築設計事務所

代表取締役 茂木 聡 (高29回卒)

〒367-0042 本庄市けや木3-1-14
TEL 0495-25-1781 FAX 0495-25-1782

明日の物流を考え、地域社会に貢献します

永井運輸株式会社

代表取締役 永井保之 (高27回卒)

〒367-0107 埼玉県児玉郡美里町北十条400-1
TEL 0495-76-1821 (代表) FAX 0495-76-1823

鮎 み さ ご

安藤 寿則 (高16回卒)

〒367-0053 本庄市中央2-8-31
電話は、みさごイチバン
TEL 0495-22-3351

犬伏山 清 福 寺

住職 塩原 宥暁 (高5回卒)

〒367-0031 本庄市北堀1527
TEL 0495-22-3761

四神思想の墓、耐震施工
仏石、墓地工事、石堀、建築石張、石材販売

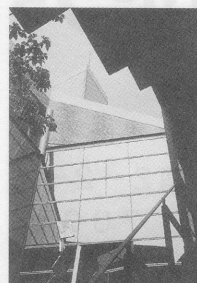


柿木石材

KAKIGI STONE

代表 柿木 左近 (高16回卒)

〒366-0001 深谷市中瀬682-1
TEL 048-587-4114
FAX 048-587-4113



同窓会サポート企業

SALAT

株式会社サラト

■本社
兵庫県姫路市北条宮の町172
〒670-0948
TEL:079-284-1380

■東京支社
東京都台東区台東4-18-7
シモジビル5F
〒110-0016
TEL:03-3832-6381

<http://www.salat.co.jp>